

国際交流基金ケルン日本文化会館機関報告

(2009年11月30日現在)

文責：岩澤和宏

1. 機関概要

名称： 国際交流基金ケルン日本文化会館

The Japan Cultural Institute in Cologne (The Japan Foundation)

Japanisches Kulturinstitut Koeln (The Japan Foundation)

所在地 Universitaetsstrasse 98, 50674 Koeln, Germany

電話 +49-(0)221-940-5580

Fax +49-(0)221-940-5589

代表者 上田 浩二 ケルン日本文化会館館長

日本語講座担当主任者氏名

講座総括担当：大西 真（国際交流基金ケルン日本文化会館職員）

講座担当講師：岩澤 和宏（日本語教育派遣専門家・日本語講座運営関連業務担当）

三矢 真由美（日本語教育派遣専門家・アドバイザー業務担当）

一般社会人を対象とした夜間講座で、初級から上級までの日本語を学ぶことが出来る数少ない日本語教育機関のひとつ。39年の歴史を持ち、日本語教育専門家が2名、国際交流基金より派遣されている。

国際交流基金が「JF日本語教育スタンダード」を開発するにあたり、会館の日本語講座は初級レベルにおける「パイロット講座」という位置づけである。

2. 沿革

1970年 非常勤講師2名(ドイツ人、日本人各1名)で初級コース開設。

1985年 日本語教育専門家1名派遣される。1年2学期制。

1986年 初めて中級レベル開設。初級4レベル、中級1レベル。

1989年 1年1学期制(通年制)となる。

初級2年修了コースに加え、初級3年修了コースを開設。また、短期派遣日本語教育専門家を迎えて、10週間の集中講座を実施。

1990年 派遣日本語教育専門家2名に増員。ドイツ語圏日本語コンサルタント活動始まる。

1991年 非常勤講師養成のための研修開始。

1992年 初級3年修了コースは受講者少数で廃止。

1994年 上級新聞コース開始。

1997年 非常勤講師養成のための研修再開。

1998年 初めて正規の上級クラスが開設され、初級から上級までの一貫したカリキュラムとなる。

2000年 講座運営の効率化を図るため、学習者数の少ないクラスを統合、全体で11クラスを9クラスにする。講師会議の枠内で講座非常勤講師を対象とした勉強会を開始。

- 2003年 11月より通年制を廃止して、新プログラムへ移行。新プログラムは、3ヶ月継続して学習できる夏コース（3月～6月）と冬コース（11月から2月）からなる。
- 2005年 夏・冬コース（本コース）に加え、春・秋の入門体験コースの4コースを、年間を通じて実施。
- 2006年 9月、10月の二か月に1コース分進む短期集中型「新幹線コース」が加わる。
- 2007年 国際交流基金が「JF日本語教育スタンダード」を開発するにあたり、初級レベルの「パイロット講座」という位置づけになる。
- 2008年 修了試験に「口頭試験」が加わる。初級クラスにおいて、「can do 記述」が配布され、「ポートフォリオ」が導入される。
- 2009年 初級を中心にシラバスの改訂作業が始まる。

3. 主教材

- 初級（レベル1-5） 『みんなの日本語 初級Ⅰ 初級Ⅱ』（スリーエーネットワーク）
『BASIC KANJI BOOK VOL. 1』（凡人社）
- 中級（レベル6） 『新日本語の中級』（スリーエーネットワーク）
『BASIC KANJI BOOK VOL. 2』（凡人社）
- （レベル7） 『日本語中級 J 301』（スリーエーネットワーク）
『INTERMEDIATE KANJI BOOK VOL. 1』（凡人社）
- （レベル8） 様々な教科書より
- 上級（レベル9） 教科書は使用しない ニュース、新聞記事などを教材化

4. 講師スタッフ・学習者数

現地教授スタッフ内訳

- 常勤講師 2名（国際交流基金派遣日本語教育専門家）、
非常勤講師 12名（内、非母語話者 4名）

履修状況（登録者数） 2008年～2009年

レベル	クラス名	08 - 09年冬コース	2009年夏コース	09 - 10年冬コース
初級	レベル1～5	131名	120名	140名
中級	レベル6～8	35名	42名	48名
上級	レベル 9	8名	10名	11名
	合計	174名	172名	199名

以上